

第五地連「19年度」予算・人員闘争総括②

昨日の号に引き続き第五地連「19年度」予算・人員闘争総括の資料からの引用です。昨日は作業計画上の特徴点でしたが、今日は作業計画表に出ない部分の必要人員の特徴を中心に報告します。

	指導	欠員対策	庁舎管理
足立	18年度同様 東西で各5人	3人 事業所含む	3人
江戸川	18年度同様 20人	3人	業務委託
江東	4人→8人	なし	2人
墨田	15人+再任用 4人 ただし、10月 にサーマルで 6人が収集へ	5人 事業所含む	シルバー 人材

指導に各区の差 庁管の委託も

各区で違いが出てきているのは指導の人員数です。葛飾区は多いと思っていましたが、江戸川区が20人で最大です。江東区は倍増したものの8人、足立区は10人です。

庁舎管理では江戸川区が「要員がない」ということで業務委託、墨田区はシルバー人材の活用を行っています。

技能長では江東区が定数の見直しで1人減、墨田区は過員解消で1人減となっています。

総括の視点に新規採用

各区の総括の視点では新規採用の実現に触れたものが多くなっています。「引き続き

表彰されました



組織性預金部門で感謝状

何の会議だったのかよく分かりませんが、12日、労金千住支店で会議がありました。H本現業部長が支部を代表して出席しました。その場で各種の表彰があり、葛飾支部は組織性預金部門で感謝状が贈られました。感謝状は立派な物。新宿分室組合事務所に置いてあります。ぜひ、ご覧下さい。

新規採用を求める」(足立区)、「人員については引き続き「退職不補充方針」を改めるよう求めていく」(江戸川区)、「21年度予算査定に間に合うように人員の新規採用を要求する」(江東区)などです。

「民間委託の攻撃が打ち出されている状況下で、今後の対応策として区独自では限界が生じる。東京清掃全体の運動として闘うべきだ」

という足立区の総括がいいと思います。

KOBUちゃん

発行 東京清掃労働組合

葛飾支部

発行日 2007年6月14日